

SkyLink *Ver.13* for Web

ユーザーズマニュアル





マニュアルの読み方

マニュアルの構成

マニュアルは以下の構成になっています。

1 SkyLink for Web とは

SkyLink for Web の概要を説明しています。

2 データベース接続

データベース接続、データベース切断について説明します。

3 データベースの検索

データベースに接続後、実際にレコードを検索する手順について説明します。

4 風神レポートとの連携

株式会社アイ・コン社の風神レポートと連携した出力を行う手順について説明します。

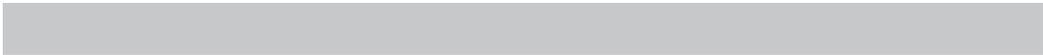
ユーザーサポートと販売条件

マークの説明

本マニュアルでは、以下のマークを使って注意を促しています。

📖 参考：参考にしていただきたい事柄を説明しています。

🔍 X.X.X：参照していただきたい項目を示しています。





1. SkyLink for Web とは

SkyLink for Web を使用方法について説明します。



SkyLink for Web で何ができるか

Web サーバに「SkyLink for Web」をインストールすることによって、SkyLink for Desktop と同様の操作性で、ブラウザ上からデータベース検索が行なえます。

SkyLink for Web は、データベースに接続して自由に必要なレコードを検索するだけではなく、あらかじめ作成しておいた SkyLink for Desktop のコマンドファイルや、SkyLink for Web で作成した検索定義情報を使用して、即座に必要な検索結果をブラウザ上に表示します。ブラウザ上で動作しますが、その操作性は SkyLink for Desktop とほぼ同様となっていますので、どなたでも簡単に使用することが可能です。



SkyLink for Web の使用環境

SkyLink for Web をお使いになるには、以下の環境が必要です。

OS

Windows 7、Windows 8.1、Windows 10、
Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2、
Windows Server 2016

パーソナルコンピュータ本体

メモリ OS の推奨メモリ容量以上

ハードディスク 10M バイト

ネットワークインタフェースカード

Web サーバ

Internet Information Server 7.5 以上 + .NET Framework
(ASP.NET)

クライアント (SkyWeb ジェネレータ)

SkyLink をお使いになる環境と同等 (SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアルをご覧ください)

ただし、Internet Explorer 9.0 以降がインストールされている必要があります。

対応 Web ブラウザ

Internet Explorer 11.0 以上、Google Chrome 最新バージョン、Microsoft Edge 最新バージョン

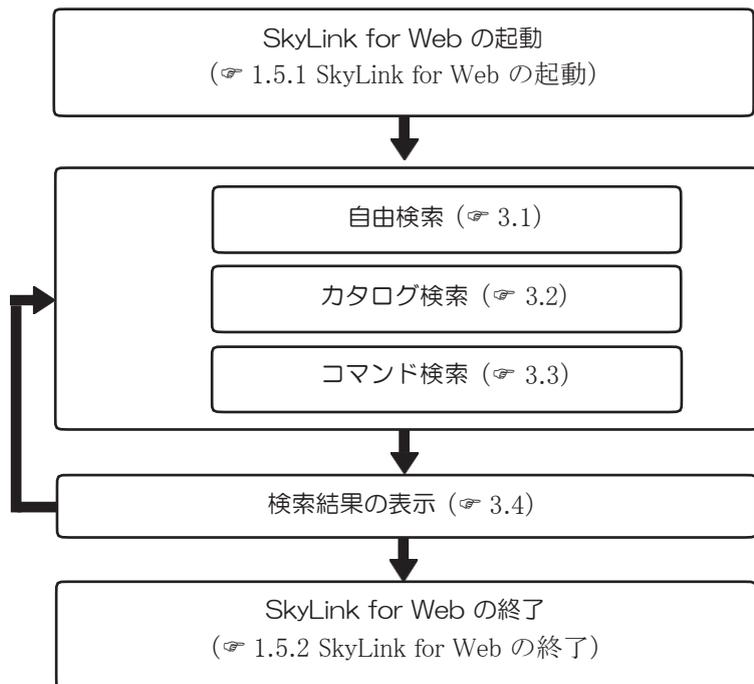
データベースのクライアント環境につきましては、SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアルをご覧ください。

Web サーバで利用するデータベースのクライアント環境 (ミドルウェア) 及びライセンス等につきましては、ご使用のデータベースの各メーカーにご確認ください。また、弊社 SkyLink のホームページ上でも、確認の取れたものよりご案内させていただきます。

1.3

SkyLink for Web の操作の流れ

SkyLink for Web の大まかな操作の流れは、次のようになります。





SkyLink for Web のインストール

1.4.1 本パッケージの内容

本製品のパッケージには、以下のものが同梱されています。

- (1) SkyLink Ver.13 セットアップ CD-ROM..... 2 枚
 - SkyLink Ver.13 for Web 検索性用 1 枚
 - SkyLink Ver.13 for Desktop(検索性/更新用)..... 1 枚
- (2) インストールガイド (SkyLink Ver.13 for Desktop 用) .. 1 枚
- (3) プロダクトキー記載カード (SkyLink Ver.13 for Desktop 用)
..... 1 枚
- (4) お客様カード 1 枚
- (5) プログラム使用権許諾書 1 枚

1.4 SkyLink for Web のインストール

1.4.2 SkyLink for Web のインストール

SkyLink for Web をインストールする手順を説明します。インストール先やドライブ名が異なる場合は、置き換えてお読みください。

(使用環境については SkyLink for Web の使用環境を参照してください：☞ 1.2 SkyLink for Web の使用環境)

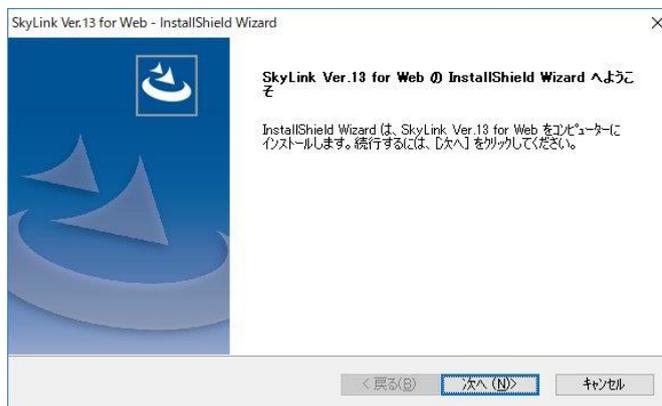
SkyLink for Desktop(検索／更新用) のインストール手順については、SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアルをご参照ください。

1 SkyLink for Web の CD-ROM を挿入します。

CD-ROM が「自動再生」に設定されている場合は、自動的にインストールが開始されます。

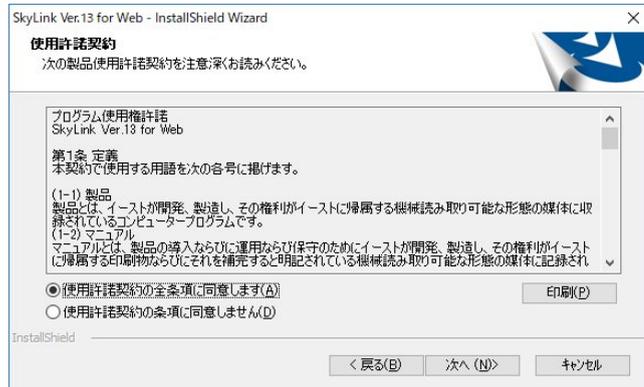
「自動再生」に設定されていない場合は、パソコンからエクスプローラでドライブを選択して中身を表示して [setup.exe] をクリックして実行するか [ファイル名を指定して実行 (R)] を選択し、「CD-ROM ドライブ名：¥Setup.exe」と入力し [OK] ボタンをクリックします。

2 [InstallShield ウィザード] ダイアログが表示されます。



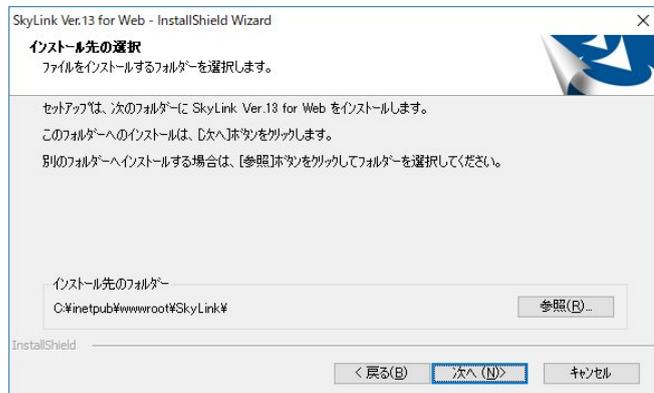
セットアップの準備が行われます。

- 3 [使用許諾契約] に同意して [次へ (N)>] ボタンをクリックします。

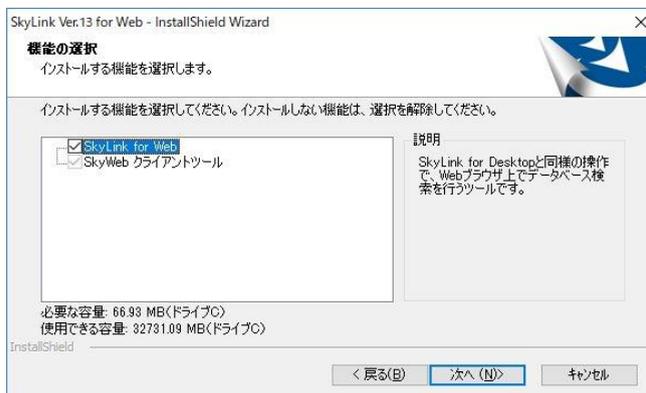


- 4 インストールするフォルダを確認の上、[次へ (N)>] ボタンをクリックします。

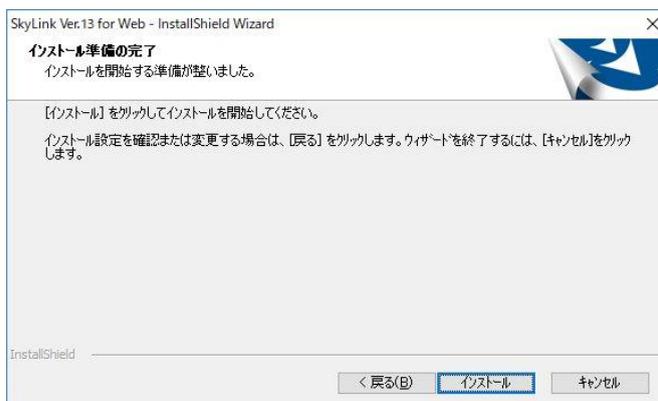
表示されているフォルダ以外にインストールする場合は、[参照 (R)] ボタンをクリックして、インストール先を指定します。



5 インストールするコンポーネントを選択します。

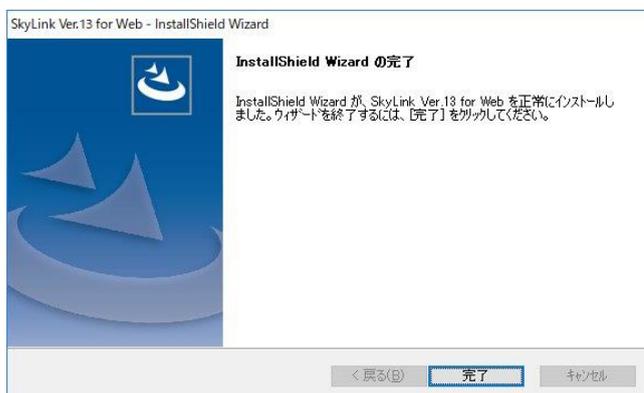


6 [インストール] ボタンをクリックして、インストールを実行します。



インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」と表示されます。

- 7 [完了] ボタンをクリックして、インストールを終了します。



お使いの環境によっては、SkyLink for Web のインストール後、マシンの再起動が必要となりますので、画面の指示に従います。

1.5

SkyLink for Web の起動と終了

1.5.1 SkyLink for Web の起動

SkyLink for Web の起動



SkyLink for Web をインストールした URL に、ご使用のブラウザでアクセスします。

SkyLink for Web は、この Default.aspx をメイン画面とする Web ページ群です。

1.5.2 SkyLink for Web の終了

SkyLink for Web の終了

SkyLink for Web 起動中のブラウザを終了する際は、[ログアウト] ボタンを押してデータベースと切断後に行ってください。

1.6

環境の設定

1.6.1 使用ブラウザの設定

SkyLink for Web はセッション機能を使用しておりますので、クライアントのブラウザの設定で「Cookie」の使用を「有効」にしてください。

1.6.2 SkyLink for Web の設定ファイル

SkyLink for Web の設定ファイル

[(SkyLink for Web がインストールされたフォルダ)]

※[App_Data]	[commandfiles]	コマンド検索使用ファイル (☞ 3.3.3 使用するコマンドファイルの設定)
	catalog.xml	カタログ登録設定ファイル (☞ 3.2.2 ツールバー (編集ボタン))
[App_Code]	[Data]	ツールバー設定ファイル (☞ 1.6.9 ツールバーメニューの編集方法)
※[CONFIG]	__setup.xml	表示設定ファイル

※カタログ登録編集やコマンドファイル設定を行う場合に、予め書き込み権限を追加しておく必要のあるフォルダです。

Setup.xml の設定

Setup.xml には以下の項目があります。必要に応じて設定をしてください。

[DataKind](☞ 1.6.3 データベース種別の設定)

[RDBKind]

(☞ 1.6.4 NEC RDB サーバ対応データベース接続時の種別設定)

[OracleTimeFormat](☞ 1.6.5 ORACLE 日付書式の設定)

[OuterJoinOnSQL92](☞ 1.6.6 外部結合の設定について)

[MaxRecords](☞ 1.6.7 最大検索レコード数の設定)

[UserManagerFile][ManagingServer]

(☞ 1.6.8 ユーザーマネージャ使用時の設定)

最大レコード数とユーザーマネージャ設定サーバ以外は、クライアントからも変更することが可能です。

1.6 環境の設定

1.6.3 データベース種別の設定

[DataKind]

Setup.xml で、データベースの種類を設定します。

設定できる値には、以下のものがあります。

skyDB_ORACLE	(Oracle に接続)
skyDB_NEC	(NEC RDBサーバ対応DBに接続)
skyDB_FUJITSU	(富士通 Sumfoware に接続)
skyDB_DB2	(IBM DB2 に接続)
skyDB_ODBC	(ODBC 対応 DB に接続)
skyDB_SQLSERVER	(SQL Server にADO.NET で接続)

1.6.4 NEC RDB サーバ対応データベース接続時の種別設定

[RDBKind]

Setup.xml で、NEC RDB サーバ対応 DB に接続する場合に設定します。

設定できる値には、以下のものがあります。

skyRDB_RIQS1	(RIQS V1)
skyRDB_RIQS2	(RIQS V2)
skyRDB_AVX	(A-VX/RDB)
skyRDB_ORACLE	(ORACLE)
skyRDB_INFORMIX	(INFORMIX)
skyRDB_SQLSERVER	(SQL Server)
skyRDB_OTHER	(その他)

1.6.5 ORACLE 日付書式の設定

[OracleTimeFormat]

Setup.xml で、Oracle 接続時の日付データ出力形式を設定します。

標準は DD/MM/SYY になっています。設定の詳細値は、Oracle のマニュアルをご覧ください。

1.6.6 外部結合の設定について

[OuterJoinOnSQL92]

true を指定すると、表結合時の SQL 作成構文に、INNER JOIN、OUTER JOIN を使用します。false の場合は、WHERE 句に列の等価条件を使用します。

1.6.7 最大検索レコード数の設定

[MaxRecords]

Setup.xml で、検索時に取得する最大レコード数を指定します。0を指定すると、すべてのレコードを取得します。その他の数値を指定した場合、仮にその数値以上のレコード数が存在しても、途中までしか返されません。ただし、件数検索を行った場合は、正しいレコード数が取得されます。

1.6.8 ユーザーマネージャ使用時の設定

データベースの接続に、ユーザーマネージャで定義したデータソース、ユーザーを使用したい場合に、該当のユーザーマネージャのサーバー名を記述します。

[UserManagerFile]

直接ファイル名を指定する場合

例:

```
<UserManagerFile>¥¥SkyServer¥UserMgr¥skyusers.sud</UserManagerFile>
```

[ManagingServer]

運用ツールで運用したい場合

例:

```
<ManagingServer>SkyLinkServer</ManagingServer>
```

1.6.9 ツールバーメニューの編集方法

以下の各 XML ファイル内で、行の前後をコメント (<!------->) で囲むと、その行のボタンは表示されなくなります。

toolbarDB.xml

SkyLink for Web メイン画面にて表示される、使用可能な検索の一覧です。

標準は「自由検索」「カタログ検索」「コマンド検索」になっています。

toolbarCommand.xml

「自由検索」(☞ 3.1 自由検索) にて表示されるツールバーの一覧です。

toolbarCommandList.xml

「コマンド検索」(☞ 3.3 コマンド検索) にて表示されるツールバーの一覧です。

toolbarCatalog.xml

「カタログ検索」(☞ 3.2 カタログ検索) にて表示されるツールバーの一覧です。

toolbarRecord.xml

「検索結果画面」(☞ 3.4 検索結果画面) の「シート画面」にて表示されるツールバーの一覧です。

toolbarRecordDetail.xml

「検索結果画面」(☞ 3.4 検索結果画面) の「フォーム画面」にて表示されるツールバーの一覧です。



2. データベース接続

データベース接続、データベース切断について説明します。

2.1

データベースとの接続方法

SkyLink for Web で、データベースに接続する方法について、説明します。

SkyLink for Web のページを開くと、データベース接続のパラメーターを入力する接続画面が表示されます。開かれる接続画面は、接続しようとするデータベースによって異なります。

例：ODBC 対応データベースの接続画面



The screenshot shows the main connection interface of SkyLink Ver.13 for Web. At the top, there is a green header with the SkyLink logo and a gear icon for options. The main area contains the text 'SkyLink Ver.13 for Web' and three input fields labeled 'データベース名' (Database Name), 'ユーザー名' (Username), and 'パスワード' (Password). Below these fields is a green '接続' (Connect) button. At the bottom, there is a small copyright notice: 'Copyright © EAST CO., Ltd. All Rights Reserved.'

接続するデータベースを設定する場合は、画面上部の [オプション] ボタン  を押します。

以下の [オプション] ダイアログが表示されます。



The screenshot shows the 'オプション' (Options) dialog box. It has a title bar with the text 'オプション' and a close button. Inside the dialog, there are two sections: '[接続先データベース]' (Destination Database) with a dropdown menu currently set to 'ODBC対応DB', and '[外部結合]' (External Join) with a checked checkbox labeled '外部結合にLEFT/RIGHTを使用する' (Use LEFT/RIGHT for external joins). At the bottom of the dialog are two buttons: '設定' (Settings) and 'キャンセル' (Cancel).

[接続先データベース]

接続するデータベースの種類を設定します。
選択肢として、以下の 6 種類があります。

- ORACLE
- NEC RDB サーバ対応
- 富士通 Symfoware
- IBM DB2
- ODBC 対応 DB
- SQL Server(ADO.NET 接続)

ORACLE を選んだ場合、[日付書式] の設定が表示されます。
NEC RDB サーバ対応を選んだ場合、[NEC RDB サーバ対応データベース] が表示され、RIQS_V1, RIQS_V2, A-VX/RDB, ORACLE, INFORMIX, SQL Server, その他の中から、該当のデータベースを選択します。

[外部結合] 外部結合に LEFT/RIGHT を使用する

チェックを付けると、SQL 文を生成する際に LEFT JOIN, LEFT OUTER JOIN 構文を使用して、表結合を定義します。

2.2

ORACLE との接続

ORACLE に接続する場合は、次の接続画面が表示されます。



[データベース名] テキストボックス

データベース名、または Oracle にあらかじめ登録されているデータベース別名を指定します。

[ユーザー名] テキストボックス

データベースに登録済みのユーザー名を入力します。

[パスワード] テキストボックス

データベースに登録済みのパスワードを入力します。パスワード欄には入力した文字の代わりに、「*」（アスタリスク）が表示されます。

2.3

NEC RDB サーバ対応 データベースとの接続

NEC RDB サーバ対応データベースに接続する場合は、次の接続画面が表示されます。



実行ステーション コネクションID

ユーザー名 RDBディレクトリ名

パスワード RDBワークファイル名

アカウント名 スキーマ名

接続

Copyright: EAST Co., Ltd. All Rights Reserved.

選択したデータベースによって設定するパラメーターを変更してください。

2.4

富士通 Symfoware との接続

富士通 Symfoware に接続する場合は、次の接続画面が表示されます。



[サーバー名] テキストボックス

接続するサーバー名を指定します。

[ユーザー名] テキストボックス

サーバーに登録済みのユーザー名を入力します。

[パスワード] テキストボックス

サーバーに登録済みのパスワードを入力します。パスワード欄には入力した文字の代わりに、「*」（アスタリスク）が表示されます。

2.5

IBM DB2 との接続

IBM DB2 に接続する場合は、次の接続画面が表示されます。



[データベース名] テキストボックス

データベース名、または DB2 にあらかじめ登録されているデータベース別名を指定します。

[ユーザー名] テキストボックス

データベースに登録済みのユーザー名を入力します。

[パスワード] テキストボックス

データベースに登録済みのパスワードを入力します。パスワード欄には入力した文字の代わりに、「*」（アスタリスク）が表示されます。

2.6

ODBC 対応データベースとの接続

ODBC 対応データベースに接続する場合は、次の接続画面が表示されます。



[データソース名] テキストボックス

利用するデータソース名を指定します。

[ユーザー名] テキストボックス

データソースに登録済みのユーザー名を入力します。

[パスワード] テキストボックス

データソースに登録済みのパスワードを入力します。パスワード欄には入力した文字の代わりに、「*」(アスタリスク)が表示されます。

2.7

Microsoft SQL Server との ADO.NET 接続

Microsoft SQL Server をお使いの場合は、ODBC 接続以外に Microsoft SQL Server 接続 (ADO.NET 接続) を利用することができます。

次の接続画面が表示されます。



[サーバー名] テキストボックス

接続するサーバー名を指定します。

[データベース名] テキストボックス

接続するデータベース名を入力します。省略した場合は、デフォルトのデータベースと接続されます。

[ユーザー名] テキストボックス

データベースに登録済みのユーザー名を入力します。

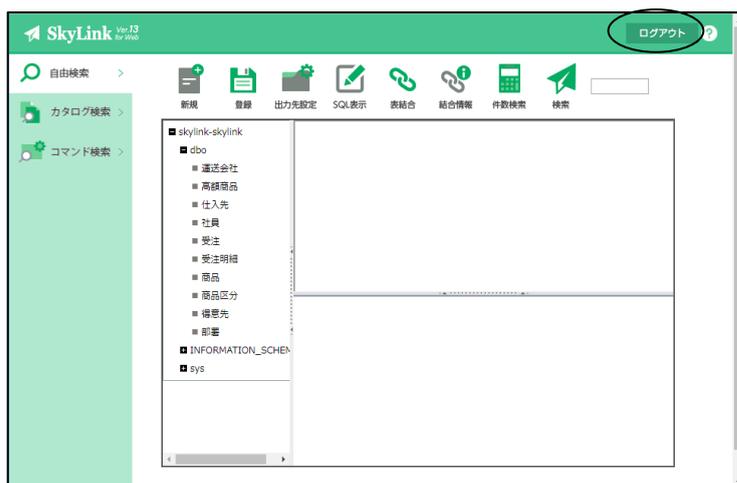
[パスワード] テキストボックス

データベースに登録済みのパスワードを入力します。パスワード欄には入力した文字の代わりに、「*」(アスタリスク) が表示されます。

2.8

データベースとの切断

データベースとの接続を解除するには、ツールバーの[ログアウト] ボタン **ログアウト** を選択します。





3. データベースの検索

データベースに接続後、実際にレコードを検索する手順について説明します。

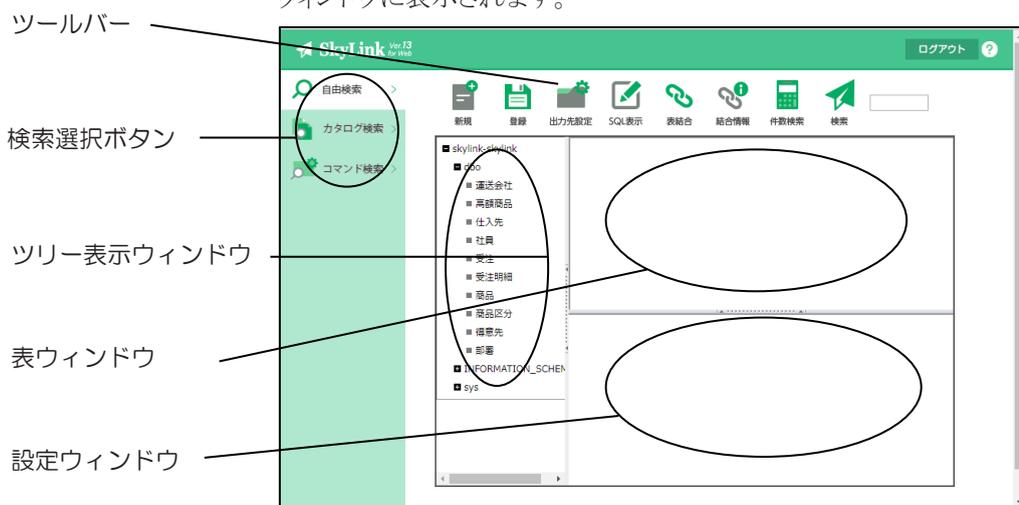
3.1

自由検索

SkyLink for Web の接続画面でデータベースに接続を行い、自由検索を選択すると、直接データベース上の表を指定して検索を実行することができます。

3.1.1 各部の名前

SkyLink for Web の接続画面にて [接続] ボタンをクリック後、[自由検索] をクリックすると、データベースから表の情報を取得し、ツリー表示ウィンドウに表示されます。



ツールバー

SkyLink for Web を操作するためのボタンが表示されます。新規ボタン、登録ボタン、検索ボタンなどが配置されます。

検索選択ボタン

SkyLink for Web にて行う検索の種類を選択するためのボタンが表示されます。自由検索、カタログ検索、コマンド検索のボタンが配置されます。

ツリー表示ウィンドウ

接続後に、該当のデータベースのスキーマ（オーナー）、表の一覧が表示されます。

表ウィンドウ

表が視覚的に表示される、SkyLink のインターフェースの特徴であるウィンドウです。ツリー表示ウィンドウから、検索を行うための表をこのウィンドウに追加します。このウィンドウからさらに表または列を選択して設定ウィンドウに追加し、検索を実行します。

設定ウィンドウに追加する場合は、列をダブルクリック、または列を右クリックして表示されるメニューから [設定ウィンドウに追加] を選択します。

タブレットで設定ウィンドウに追加する場合は、列をダブルタップまたは長押しして選択します。

設定ウィンドウ

検索を行う表の項目名や条件を設定するためのウィンドウです。

3.1.2 ツールバー

SkyLink for Web の自由検索の画面で使用される、ツールバーの各ボタンメニューについて説明します。



新規ボタン

現在の編集を中止して新しい検索を行う場合に選択します。表ウィンドウと設定ウィンドウがクリアされます。



登録ボタン

[カタログ登録] ダイアログが表示され、現在設定されている表、列、条件等を使用した検索を、カタログに登録します。



出力先設定ボタン

[出力先詳細] ダイアログが表示され、検索結果の出力先を設定します。



SQL表示

SQL 表示ボタン

設定ウィンドウがテキストボックスに変更され、直接 SQL 文を記述することが出来ます。再度ボタンを押すと、設定ウィンドウが表示されます。

表示させたくない場合は、toolbarCommand.xml を編集してください (☞ 1.6.9 ツールバーメニューの編集方法)



表結合

表結合ボタン

[結合]ダイアログが表示され、列を結合する指定を行います。テーブルウィンドウに表が1つしかない場合は、何も動作しません。



結合情報

結合情報ボタン

[結合情報]ダイアログが表示され、現在設定されている表結合の一覧がリストに表示されます。表結合の解除を行う場合は、こちらから指示してください。



件数検索

件数検索ボタン

現在の設定ウィンドウの内容で、レコード件数の検索を行います。結果は、右端のレコード件数ボックスに表示されます。



検索

検索ボタン

現在の設定ウィンドウの内容で、実際にレコードの検索を行います。出力先は、[出力先設定]で指定されているものとなります。

313

レコード件数ボックス

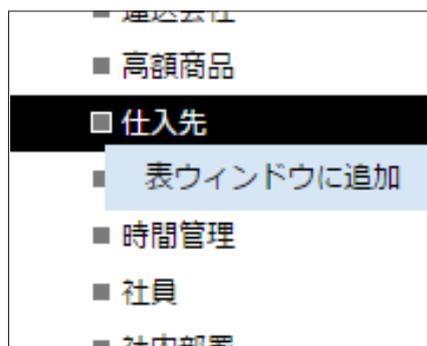
検索結果のレコード件数を表示します。

3.1.3 検索する表を指定する

ツリー表示ウィンドウから、使用するスキーマ（オーナー）名の先頭にある+をクリック、もしくはダブルクリックすると、そのスキーマ（オーナー）に属する表の一覧が表示されます。

検索したい表を、表ウィンドウに設定するには、表をダブルクリック、もしくは表を右クリックして表示される [表ウィンドウに追加] を選択します。必要な表の数分、繰り返します。

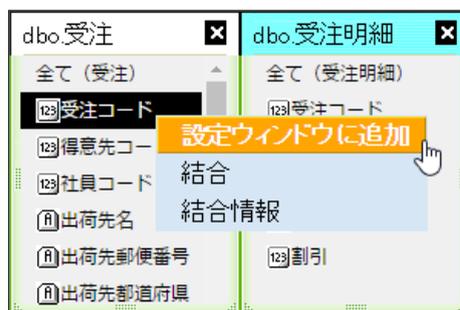
タブレットで追加する場合は、表をダブルタップまたは長押しして選択します。



3.1.4 検索する列を指定する

表ウィンドウに表示されている表の中の、検索したい列をダブルクリック、もしくは右クリックして表示されるメニューから [設定ウィンドウに追加] を選択します。検索結果を取得したい列分、繰り返します。

タブレットで追加する場合は、列をダブルタップまたは長押しして選択します。



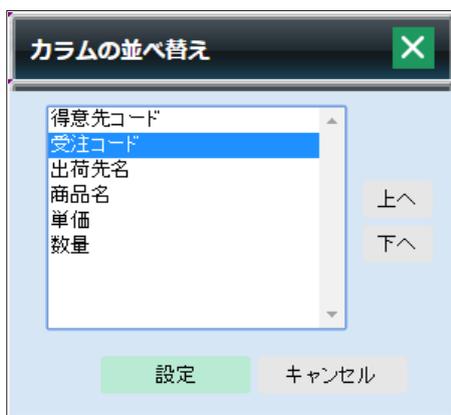
全て（表名）をダブルクリックすると、全ての列が設定ウィンドウに追加されます。

3.1 自由検索

設定ウィンドウに追加された列の順序を並べ替えたい場合は、設定ウィンドウ上で右クリックして表示されるメニューから [並べ替え] を選択します。(タブレットで追加する場合は、列名をタップして表示されるメニューから選択します)

4	5	6	7
区分コード	梱包単位	単価	在庫
区分コード	梱包単位	単価	在庫
ANC	全項目を削除		
	全項目の設定・条件を削除		
	選択項目を削除		
	選択項目の設定・条件を削除		
	並べ替え		

[カラムの並べ替え] ダイアログが表示されますので、カラム (列) の順序を並べ替えて [設定] ボタンを押します。



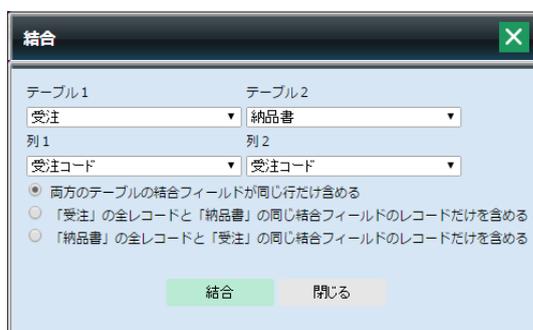
3.1.5 表の結合を行う

複数の表を結合して検索したい場合の手順について説明します。結合したい一方の列をマウスでクリックし、そのままもう一つの列までドラッグして該当の列の上でマウスを離します。設定が完了すると、それぞれの列名の先頭に同じ色の四角いマークが表示されます。

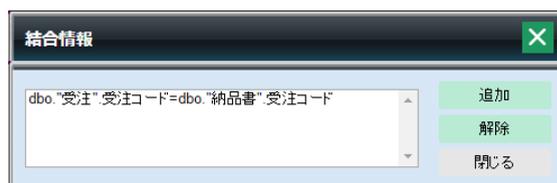


もう一つの方法としては、列を右クリックして表示されるメニュー [結合] を選択するか、ツールバーの [表結合] ボタン  をクリックします。

[結合] ダイアログが表示されますので、結合したいそれぞれの列、結合方法を設定して [結合] ボタンで終了します。



上記の [結合] ダイアログは、ツールバーの [結合情報] ボタン  をクリックしますと表示される [結合情報] ダイアログにて [追加] ボタンを押しても、表示させることができます。



3.1 自由検索

3.1.6 検索条件の設定

検索する際に、条件を付加する方法について説明します。
設定ウィンドウに追加された列の中で、条件を付加したい列の [条件 n] の欄を、マウスでクリックします。



[条件] ダイアログが表示されますので、条件の種類、条件値を入力して [設定] ボタンをクリックします。検索時に毎回異なる条件を付加したい場合は、[可変 (パラメーター入力できるようになります)] チェックボックスにチェックを付けます。

3.1.7 ソート・演算・グループ化

設定ウィンドウの [設定] 欄をクリックすると、[設定] ダイアログが表示され、ソート・演算・グループ化などの設定を行うことができます。設定欄に何も設定されていない場合には、「AND」と表示されています。



他の項目に対して AND OR ラジオボタン

対象項目の検索条件全体と他の項目の検索条件全体を結び付ける際に、「AND」を使用するか、「OR」を使用するかを選択します。つまり、対象項目を基準とした場合、『最も近い

左項目の検索条件「AND / OR」対象項目の検索条件』となります。複数の項目に検索条件を指定していない場合や、検索条件を指定する項目のうち一番左に対象項目が位置する場合は、この指定は意味がありません。対象項目が設定ウィンドウの先頭（「1」の列）にある場合、[AND][OR]のいずれも指定できません。

条件式全体の括弧

[左] コンボボックス

[右] コンボボックス

対象項目の検索条件と他の項目の検索条件を結び付ける際に、‘(’もしくは‘)’と条件付ける場合は、コンボボックスの をクリックして表示される一覧から、使用するカッコを選択します。‘(’、‘)’、は7重まで指定することができます。

項目に式を追加

[演算子] コンボボックス

[演算する値] コンボボックス

対象項目の値に対して演算を行うことを設定します。 をクリックして表示される一覧から、演算子を選択します。一覧に表示される演算子は以下のとおりです。

演算子	意味	対応するデータ型
*	乗算	数値型
/	除算	数値型
+	加算	数値型
-	減算	数値型
=	関数	文字型 数値型

[演算する値] コンボボックスは、対象項目が日本語型（マルチバイト型）の場合は、自動的に日本語入力状態になります。数値または文字を直接入力するか、 をクリックして表示される一覧から、列名を選択します。[演算する値] コンボボックスは、[条件] ダイアログの [条件の値] コンボボックスと同様に操作することができます（☞ SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアル 3.7.2 検索条件の設定）、複数列の演算が可能です。

Oracle の場合には、Oracle 関数をご使用頂けます。

[列参照として扱う] チェックボックス

[演算する値] コンボボックスに、ある特定の数値や文字列ではなく列名を入力したときにチェックします。

をクリックして表示される一覧から列名を選択した場合は、デフォルトでチェックがつきます。

[集計] コンボボックス

対象項目の値に対して集計を行うことを設定します。 をクリックして表示される一覧から、集計関数を選択します。一覧に表示される集計関数は以下のとおりです。

集計関数	意味	対応するデータ型
平均	平均値	数値型
件数 (*)	検索レコード数	文字型 数値型
件数 (D)	検索レコード数※	文字型 数値型
最大	最大値	文字型 数値型
最小	最小値	文字型 数値型
合計	合計値	数値型

※重複レコードは 1 件と数える

ソート

[なし] オプションボタン

[昇順] オプションボタン

[降順] オプションボタン

対象項目の値を基準にして、検索レコードを順番に並べることができます。例えば、対象項目が数値項目の場合に [昇順 (S)] を選択するとレコードは「1, 2, 3・・・」のように並び、[降順 (D)] を選択するとレコードは「・・・3, 2, 1」のように並びます。ひとつのコマンドにソートは 8 個まで指定できます。

[重複なし] チェックボックス

チェックをつけると、重複したレコードを検索しません。[重複なし (I)] チェックボックスは、対象項目が設定ウィンドウの先頭の項目の場合のみ、使用可能となります。

[グループにする (G)] チェックボックス

対象項目をグループのキーとなる項目に設定することができます。対象項目をグループ化のキー項目としたい場合には、チェックをつけます。

グループの条件

[項目] コンボボックス

[集計関数] コンボボックス

[演算子] コンボボックス

[演算する値] ボックス

グループ化した中から、特定のグループを選びたい場合は、[グループの条件] にその条件を指定します (☞ SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアル 3.7.7 検索例)。[グループにする (G)] チェックボックスにチェックをつけると、[グループの条件] が使用可能となります。

[項目] コンボボックスの▼をクリックして表示される一覧から、条件の対象となる列名を選択します。[項目] コンボボックスは、[条件] ダイアログの [条件の値] コンボボックスと同様に操作することができます (☞ SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアル 3.7.2 検索条件の設定)。

[集計関数] コンボボックスの▼をクリックして表示される一覧から、集計関数を選択します。[集計関数] コンボボックスは、[全体] タブの [集計 (F)] コンボボックスと同様に操作することができます。

[演算子] コンボボックスの▼をクリックして表示される一覧から、演算子を選択します。[演算子] コンボボックスは、[条件] ダイアログの [演算子] コンボボックスと同様に操作することができます (☞ SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアル 3.7.2 検索条件の設定)。

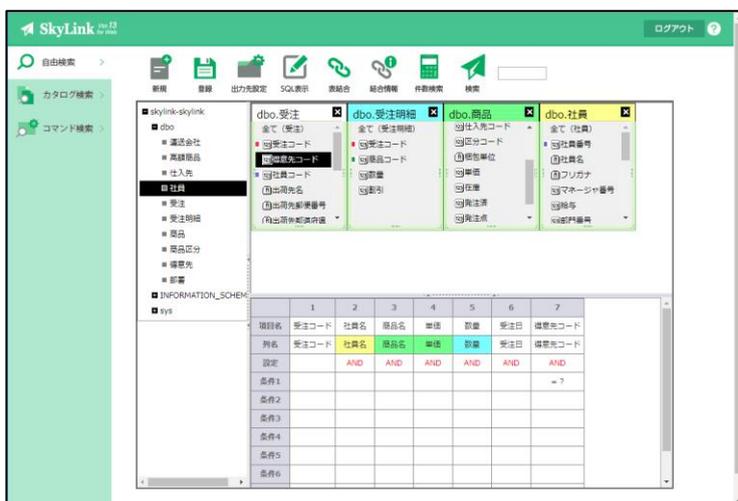
[演算する値] ボックスに、演算子で比較する数値や文字列を入力します。

3.1.8 検索を実行する

設定ウィンドウに設定した列、条件で検索を行う場合、ツールバーの [検索] ボタン  を押して検索を実行します。

条件に [可変] が設定されている場合、条件値を入力するための [可変値指定] ダイアログが表示されますので、条件を設定します。

3.1 自由検索



3.1.9 出力先の指定

画面に検索結果を表示する際の詳細設定や、画面以外に検索結果を表示する際等に使用する、[出力先設定] について説明します。

ツールバーから、[出力先設定] ボタンを押すと、以下のダイアログが表示されます。



[1 ページに表示されるレコード数] テキストボックス

1 ページに表示されるレコード数を指定します。

[1 列あたりの平均幅] テキストボックス

検索結果に表示するページの幅を計算する 1 列あたりの幅をピクセル数で指定します。実際の検索結果は、この数値に検索結果列数を掛けた幅で出力されます。

[出力形式] コンボボックス

検索結果を出力する形式を指定します。

HTML

CSV

CSV(“文字”)

XML

TSV

の 5 種類から選択します。

風神レポートを使用する場合は、「4. 風神レポートとの連携」をご覧ください。

3.1.10 検索設定の登録

定義した表、条件を登録する方法について、説明します。

一連の操作で定義した列や条件を使用して再度検索を行う場合に、現在の設定を登録しておくことによって、次回以降、簡単に検索を行うことが可能です。

ツールバーの [登録] ボタン  をクリックすると、[カタログ登録] ダイアログが表示されますので、この画面で [カテゴリ名] [タイトル] [詳細] を設定します。



カテゴリ名

右の一覧から選択するか、登録したいカテゴリ名を入力します。「営業」「人事」などのようなカテゴリ別に検索設定を区分して登録することができます。

タイトル

登録する検索の名称を入力します。カタログ検索画面の [カタログ一覧] で表示される [タイトル] 名に表示されます。

ここで登録した情報は、次回以降、カタログ検索画面の [カタログ一覧] で [タイトル] 名を押すことによって、現在の設定が選択できますので、そのまますぐ検索をすることができます。

3.2

カタログ検索

カタログ検索は、SkyLink for Web の自由検索で作成した検索定義を一覧表示することで、簡単に該当の検索を行うことができます。

3.2.1 各部の名前

SkyLink for Web の接続画面にて [接続] ボタンをクリック後、[カタログ検索] をクリックすると、カタログ選択画面が表示されます。



ツールバー

SkyLink for Web を操作するためのボタンが表示されます。検索実行ボタン、カタログ編集ボタンなどが配置されます。

カタログ一覧ウィンドウ

接続後に、登録済みカタログのカテゴリ、タイトル、出力形式などの一覧が表示されます。

3.2.2 ツールバー

SkyLink for Web のカタログ検索の画面で使用される、ツールバーの各ボタンメニューについて説明します。



検索

検索ボタン

カタログ一覧ウィンドウにて選択したカタログの内容で、実際にレコードの検索を行います。出力先は、[出力形式] に記載されているものとなります。



編集

編集ボタン

カタログ一覧ウィンドウにて選択したカタログの内容の編集を行います。カタログ一覧ウィンドウにてカタログを選択し、編集ボタンを押すと、自由検索画面に移動し、選択されたカタログの編集を行うことができます。



削除

削除ボタン

カタログ一覧ウィンドウにて選択したカタログを削除します。
(初期設定では非表示)

カテゴリ選択リストボックス

選択されたカテゴリのカタログのみが表示されます。

絞り込み検索エディットボックス&ボタン

入力されたキーワードを含むカタログのみが表示されます。

3.3.2 ツールバー

SkyLink for Web のコマンド検索の画面で使用される、ツールバーの各ボタンメニューについて説明します。



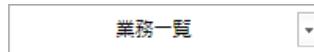
検索ボタン

コマンド一覧ウィンドウにて選択したコマンドの内容で、実際にレコードの検索を行います。出力先は、[出力形式] に記載されているものとなります。



出力先設定ボタン

[出力先詳細] ダイアログが表示され、検索結果の出力先を設定します。コマンドで指定されている出力先以外に出力したい場合に設定を行い、「変更した出力先を使用」チェックボックスにチェックを付ける事で出力先を変更できます。



コマンドファイル選択リストボックス
コマンドファイルの一覧が表示されます。

3.3.3 使用するコマンドファイルの設定

[(SkyLink for Web がインストールされたフォルダ)]
[App_Data] — [commandfiles]

コマンド一覧ウィンドウには、SkyLink for Web がインストールされたフォルダの中の、App_Data フォルダ内にある CommandFiles フォルダに保存された SkyLink for Desktop のコマンドファイルが表示されます。

SkyLink for Web で使用したいコマンドファイルは、あらかじめ CommandFiles フォルダに保存、または、コピーをしておきます。

3.4

検索結果画面

検索結果が表示されるレコード画面について、説明します。

3.4.1 各部の名前

シート画面

ツールバー

検索結果表示ウィンドウ

登録コード	品名	数量	登録日	社員名
1001	小料理ひき	40	2018-01-10	佐藤 真紀
2050	ジャンボストアー	30	2019-05-29	加藤 孝二
1002	豊洲あんどう	30	2018-01-06	内野 康治
1003	高塚まほうきょう	50	2018-01-11	山本 雅治
1004	神楽まほうきょう	30	2018-01-21	川村 匡
1005	深草せき	50	2018-01-13	小川 誠一
1006	深草高塚掛けい・えっくす	50	2018-01-20	小川 誠一
1007	栗原まねん	40	2018-01-24	川村 匡
1008	アリス夢	50	2018-01-10	村上 徹久
1009	イルカランド	50	2018-01-25	正門 恵子
1011	ヒココーポレーション	60	2018-01-18	村上 徹久
1012	高塚まねん	30	2018-03-01	高塚 雅
1013	高塚まねん	50	2018-02-03	田中 和晴
1014	高塚まねん	30	2018-02-12	田中 和晴
1015	高塚まねん	50	2018-02-15	加藤 孝二
1016	高塚まねん	30	2018-02-20	正門 恵子
1017	高塚まねん	100	2018-02-25	田中 和晴
1018	高塚まねん	30	2018-02-25	正門 恵子
1019	高塚まねん	100	2018-02-25	田中 和晴
1019	高塚まねん	30	2018-02-26	秋山 秀樹

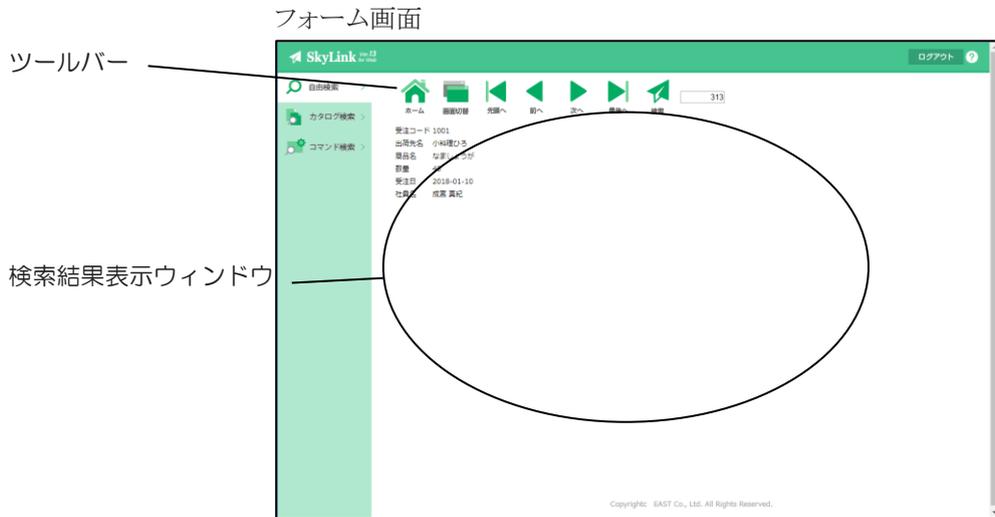
Page 1 of 16 (313 items)

出力先が [HTML] になっている場合に、表示されます。



結果ページを移動するには、ボタンをクリックするか、中央のスライダーをドラッグしてページを移動させます。

レコードを1件ずつ表示する場合は、画面切替  ボタンを押して、フォーム画面表示にします。



3.4.2 ツールバー

SkyLink for Web のレコード画面で使用される、ツールバーの各ボタンメニューについて説明します。



ホームボタン

SkyLink for Web のメイン画面に戻ります。



画面切替ボタン

レコード一覧を表示するレコード画面と1件ずつ表示するフォーム画面の切替を行います。



先頭へボタン

カレントレコードの位置を、先頭に移動します。(フォーム画面のみ)



前へボタン

カレントレコードの位置を、1つ前に移動します。(フォーム画面のみ)

3.4 検索結果画面



次へ

次へボタン

カレントレコードの位置を、1つ先に移動します。(フォーム画面のみ)



最後へ

最後へボタン

カレントレコードの位置を、最後に移動します。(フォーム画面のみ)



検索

再検索ボタン

現在の設定で再度検索を行います。可変にチェックがされている条件が指定されている場合は、再度、[可変値指定] ダイアログが表示され、新たな条件を指定することができます。

0015/0313

レコード位置

カレントレコード位置 / 総レコード数を表示します。



エクスポート

CSV エクスポートボタン

現在の設定で CSV 出力を行います。(レコード画面のみ)



エクスポート

XML エクスポートボタン

現在の設定で XML 出力を行います。
(レコード画面のみ。初期設定では非表示)



4. 風神レポートとの連携

株式会社アイ・コン社の風神レポートと連携した出力を行う手順について説明します。

4.1

風神レポートのインストール

SkyLink for Webと風神レポートを連携させるためには、風神レポートのインストールと、双方の定義ファイルの設定が必要になります。

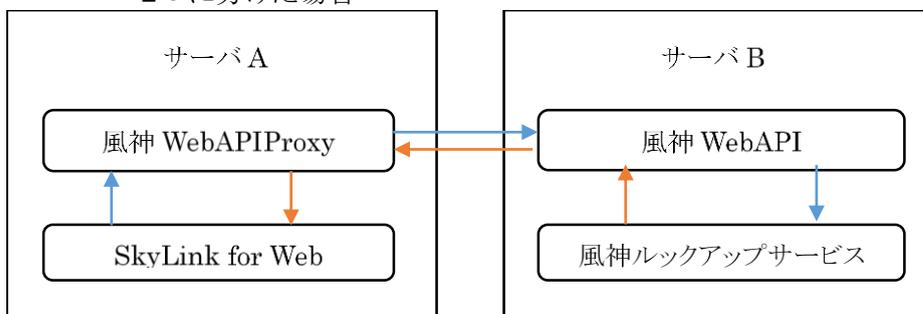
4.1.1 風神レポートの必要プログラム

以下のプログラムが必要となります。

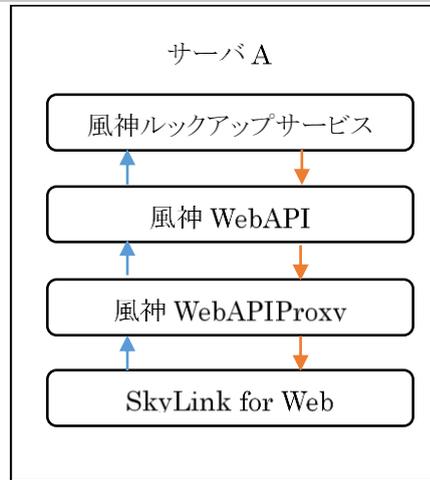
- 開発キット
- 風神ルックアップサーバ版 (ドキュメントビューアを利用する場合は必要ありません)
- 風神WebAPI
- 風神WebAPIProxy (風神WebAPIに同梱)

サーバの配置としましては、以下の2種類の構成方法があります。

2つに分けた場合



1つのサーバで行う場合



4.1.2 風神レポートのインストール

1. 帳票を出力するサーバに、風神ルックアップサービスのインストールを行います（インストールの詳細は、風神ルックアップサービスのセットアップガイドをご覧ください）。
2. 上記でインストールしたサーバにて、IISの有効化と風神WebAPIのインストールを行います（詳細は風神ルックアップサービス セットアップガイドをご覧ください）。
3. SkyLink for WebをインストールしたWebサーバに、風神WebAPIProxyをインストールします。詳細は上記と同様）。

4.1.3 フォルダ構成

SkyLink for Webをインストールした際の、風神レポート関連のフォルダの説明をいたします。

- Hoozinフォルダ HoozinWebAPIConfig.xml（設定ファイル）があります。
風神Viewerを利用する場合、風神ActiveXコントロールをこちらのフォルダにコピーしてください。
- Formsフォルダ 風神レポートで作成したHzfファイルを入れます。
- Outputフォルダ 風神ルックアップで出力する際の、CSVファイル出力先となります。
サーバを2つに分けた場合、このフォルダを共有して監視フォルダとして指定してください。
- Viewerフォルダ 風神Viewerで出力する際の、CSVファイル出力先となります。

4.1 風神レポートのインストール

※Hoozinフォルダのプロパティよりセキュリティタブにて、IIS_IUSRSとIUSRのビルディンググループのアクセス権に「変更」権限を追加してください。

4.2

各種設定ファイル

SkyLink for Webにて、風神レポートを利用するように設定ファイルを書き換える必要があります。

各ファイルごとに、以下に説明いたします。

4.2.1 setup.xml

SkyLink for Webをインストールしたフォルダの中のCONFIGフォルダにあります。

ダブルクリック等で、メモ帳などのエディタを起動します。

最終行近辺に

```
<HoozinEnabled>>false</HoozinEnabled>
```

という記述がありますので、falseをtrueに変更します。

```
<HoozinEnabled>>true</HoozinEnabled>
```

Trueにする事で、SkyLink for Webの出力先変更ダイアログに、風神レポートを利用した出力先が表示されます。

```
<HoozinDocumentViewer>>false</HoozinDocumentViewer>
```

風神レポート連携をする際に、風神ドキュメントビューアのみに対応する場合trueに変更します。

4.2.2 HoozinWebAPIConfig.xml

SkyLink for Webをインストールしたフォルダの中のHoozinフォルダにあります。

ダブルクリック等で、メモ帳などのエディタを起動します。。

```
<HoozinFormPath>>false</HoozinFormPath>
```

出力先が風神Lookupの場合に、出力するCSVファイル中にフォーム名を記述するかを指定します。

指定する場合は、trueを設定します。

詳細は、風神レポートVer.7ヘルプ「ルックアップサーバ版 CSVコマンドについて」をご覧ください。

```
<HoozinMoveCSV>>false</HoozinMoveCSV>
```

出力先が風神Lookupの場合に、印刷後にCSVファイルを指定フォルダ(監視フォルダ設定で指定します)に移動するかを指定します(falseの場合は、印刷後にファイルは削除されます)。

詳細は、風神レポートVer.7ヘルプ「ルックアップサーバ版 CSVコマンドについて」をご覧ください。

```
<HoozinDocumentType></HoozinDocumentType>
```

4.2 各種設定ファイル

出力先が風神Lookupの場合に、出力先の指定を行います。
指定無し: 監視フォルダで指定されているプリンタに出力します。
PDF: PDFファイルとして出力します。
EXCEL: EXCELファイルとして出力します。
HTML: HTMLファイルとして出力します。

詳細は、風神レポートVer.7ヘルプ「ルックアップサーバ版 CSVコマンドについて」をご覧ください。

<HoozinDocumentPath/>

出力先が風神Lookupの場合に、出力ファイルの保存場所を指定します。

<HoozinViewerDocumentPath></HoozinViewerDocumentPath>

未使用

<WebAPIDomain>WebAPI-URL</WebAPIDomain>

風神WebAPIを利用する場合の、風神WebAPIプログラムがインストールされているURLを指定します。

その際、<http://WebAPI-URL/HznWebAPI>でアクセス出来る必要があります。

<WebAPIAuth></WebAPIAuth>

未使用

<WebAPIKansino_PDF>1</WebAPIKansino_PDF>

出力先を風神WebAPI-PDFにした際に、何番目の監視フォルダ設定を使用するかを指定します。

1からの番号で指定します。

<WebAPIKansino_EXCEL>2</WebAPIKansino_EXCEL>

出力先を風神WebAPI-EXCELにした際に、何番目の監視フォルダ設定を使用するかを指定します。

1からの番号で指定します。

<WebAPIKansino_HTML>3</WebAPIKansino_HTML>

出力先を風神WebAPI-HTMLにした際に、何番目の監視フォルダ設定を使用するかを指定します。

1からの番号で指定します。

<WebAPIPortno></WebAPIPortno>

WebAPIDomainと通信するポート番号を指定します。

<WebAPIDocumentViewerFormPath>

出力先が風神ドキュメントビューアの場合、サーバ側にあるFormのパス名を指定します。

C:\¥Hzn¥Forms

4.2.3 HoozinActiveX.aspx

SkyLink for Webをインストールしたフォルダの中の¥Hoozinフォルダにあります。

メモ帳などのエディタを起動します。

```

<%@ Page Language="vb" %>
<html>
<head>
<title>帳票</title>
</head>
<%
    dim hzf = Request.QueryString("hzf")
    dim csv = Request.QueryString("csv")

%>
<body>
<object id=HoozinX height="100%" width="100%" ①
classid="CLSID:335B1568-A480-4866-B100-CD94490F0B43"
CODEBASE="http://forwebsvr/SkyLnk/hoozin/HoozinX7.ocx#Version
=6,0,0,1"></object> ②

<script type="text/javascript"> ③
document.HoozinX.open("http://forwebsvr/SkyLnk
/hoozin/Forms/<%=hzf%>")
document.HoozinX.setData("http://forwebsvr/SkyLnk
/hoozin/Viewer/<%=csv%>") ④
document.HoozinX.PrintReport(0)
</script>
</body>
</html>

```

- ① 風神レポートのActiveXコントロールのバージョンを指定します。現在ご利用のコントロールのバージョンを記入してください。
- ② ActiveXコントロールをダウンロードするURLを指定します。風神レポートの製品から、こちらで指定する場所にコピーしておきます。
- ③ 風神レポートのフォームを入れてあるフォルダを指定します。
- ④ 風神レポート用のCSVファイルを出力するフォルダを指定します。

4.3

画面説明

風神レポートに対応したSkyLink for Webの、画面説明を行います。

4.31 出力形式



出力方式の一覧に、以下の6種類が追加されます。

- 風神Lookup
サーバ上にて実際に印刷、もしくはファイルを作成する場合に使用します。
- 4.2.2 HoozinWebAPIConfig.xmlの
<HoozinDocumentType></HoozinDocumentType>に設定された出力形式で出力されます。
- 風神Viewer
ActiveXコントロール上に、印刷プレビュー表示を行います。
(Internet Explorerのみで動作します)
- 風神WebAPI-PDF
PDFファイルをダウンロードします。
- 風神WebAPI-EXCEL
Microsoft Excelファイルをダウンロードします。フォームファイルに、Excel出力在りの設定が必要です。
- 風神WebAPI-HTML
HTMLファイルを表示します。
- 風疹WebAPI-DocumentViewer
風神ドキュメントビューアーで開く.hzdファイルをダウンロードします。
クライアントPCに風神ドキュメントビューアーのインストールが必要です。



ユーザーサポートと販売条件

ユーザーサポートは、下記の販売条件に同意し、ユーザー登録をしていただいた方を対象に行います。

連絡先

イースト株式会社 ユーザーサポート係

住 所 〒 151-0053

東京都渋谷区代々木2-22-8

FAX 番号 03-3374-2998

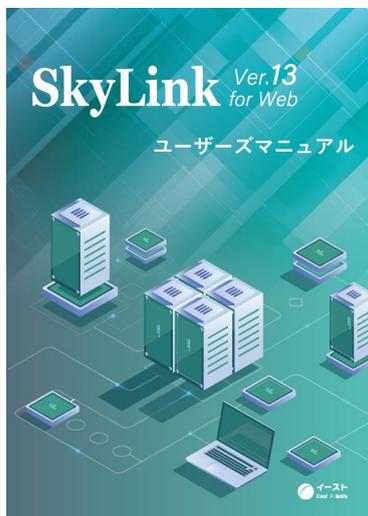
E-mail sysmaster@est.co.jp

SkyLink for Web のプログラム、マニュアルなどについてのご意見、ご要望などお待ちしております。

障害などのお問い合わせの場合は、パソコンの機種、Windows のバージョン、メモリ容量についてもご連絡ください。

■販売条件

SkyLink for Desktop ユーザーズマニュアルの『ユーザーサポートと販売条件』の「販売条件」に準拠します。



データベース検索ツール
Windows 7/8.1/10 対応
Windows Server 2008 R2/2012 R2/
2016 /2019対応

SkyLink Ver.13 for Web
ユーザーズマニュアル

2019年8月初版発行
発売元 イースト株式会社
〒151-0053
東京都渋谷区代々木
2-22-8
FAX:03-3374-2998

Microsoft[®] Windows[®] 7/8.1/10 Windows Server[®]2008 R2/2012
R2/2016/2019

Operating System は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における
商標または登録商標です。

その他商品名はその会社の商標または登録商標です。